



いたびつ 板櫃 <校訓>
真理の探究
自主躍進



令和5年11月1日(水)発行
校長 栗原博巳
北九州市小倉北区白萩町8番1号
HP: www.kita9.ed.jp/itabitsu-j/

<学校教育目標>

自立・共生～自立心にあふれ、他を思いやる心をもった生徒の育成～

<目指す生徒像>

- ① 「時を守り、場を清め、礼を正す」生徒(凡事徹底)
- ② 自ら考え、正しく判断し、進んで学習や諸活動に取り組む生徒(自立)
- ③ 思いやりの心を持ち、協力し合って集団生活の向上に努める生徒(共生)
- ④ 与えられた仕事に対し、役割を果たすことのできる生徒(責任)

頑張りました！第68回板櫃中体育大会

秋晴れの23日(月)北九州市立板櫃中学校 第68回体育大会 が挙行されました。板櫃中の生徒のみなさんの2週間の頑張りを讃えるような天気でしたね。みなさんのパワーが金曜日の雨雲を吹き飛ばしたのでしょう、全競技を終えることができました。



全校生徒のみなさん、体育大会はどうでしたか。第68回体育大会を終えた今、校長先生はこう言いたいと思います。

「これが体育大会です。きつかったこと、辛かったこと、うれしかったこと、楽しかったこと。すべて含めて体育大会です」と。競技で頑張った人、係活動で頑張った人、放送で頑張った放送部、いずれにせよ、みなさんは真剣に、楽しく、板櫃中学校生としての自覚をもって体育大会に参加することができたと思います。

今年は、色別対抗(学級対抗形式)で、保体委員を中心に取り組んできました。学年練習はもちろん、全体練習でも各クラス必死に練習に取り組むことができました。体育大会が成功するか、失敗するか先生も不安でした。でも、生徒会保体委員長の坂本さん、松田さんを中心としたみなさんの一体感を感じて、『この体育大会は成功する』と確信できました。一体感が溢れたのは、学級全員リレーのアンカーへの拍手、入退場時の手拍子です。これは、市内どこの中学校もやっていないことです。

加えて、校長先生「体育大会の練習、毎日大変だけど、どう？」3年生の生徒「楽しいです！」この「楽しい」という言葉は、3年生だけでなくたくさんの生徒から聞くことができました。

「楽しい！」なんとすばらしい一言なのでしょう。スポーツは、とすれば、結果ばかりに目がいきがちです。しかし、みなさんの言葉からは、『今までの過程を大切にしていきたい』という気持ちが伝わってきました。板櫃中生徒全員がこの体育大会を通じて本当に大きく成長したと思います。競技ですから順位は付きます。しかし、3年生は、このパワーを勉強や入試へとつなげていってほしいと思います。2年生はミドルリーダーとして、立派な態度でした。この1・2年生なら来年はもっと素晴らしいリーダーになれると思います。

順位はつきましたが、得点は接戦でした。学年競技や学級全員リレーでは、クラスの輪を深め、チームワークを高めることができました。みんな本当に頑張りました!!528人全員に校先生からMVP (Most Valuable Player) を贈りたいと思います。

※裏面は、体育大会の校長先生の話(一部抜粋)紹介しています。

体育大会が終わって、一息(ひといき)つきながら考えてみましょう。板櫃中みんなで頑張ったこの第68回体育大会。「自分はその中で何を学んだのか」あるいは「その中でどこが成長したのか」、このことを自分なりに考えて整理してみることが大切です。先生は体育大会当日の午後、一生懸命片付けをしているみなさんを見て思いました。片付けまで一生懸命に取り組む板櫃中の生徒を見て先生たちも喜んでいました。ある生徒は「校長先生、最高の体育大会でした!」と声をかけてくれました。走ることを頑張った人、係活動を頑張った人、部活動(放送部)を頑張った人、応援を頑張った人・・・自分が頑張ったこと、そこから得たものは何だったのかをきっと理解しているからだと思います。そのことを体育大会だけに終わらせるのではなく、それをどう日常の生活に生かしていけるのか、次の行事にどのように生かせるのかを考えているからこのような前向きな言葉が出るのだと感じました。



体育大会で、集合時間を守ったり、動きや声をそろえたり、みんなで毎日の練習を頑張ることによって、「みんなで頑張ることの大切さ」「積極的にやってみることの楽しさ」「集団としての決まりを守ることの大切さ、すばらしさ」を学んだり、学級全員リレーやダンスに一生懸命に取り組むことで、「全員が一つになること」「頑張ることではか得られない達成感」「一生懸命=思いやり」を学んだことと思います。

このように一つ一つの行事で学んだことを積み重ねていくことが、自分に対する自信につながっていきますし、力になっていくのです。さあ、日々の生活でもっともっと成長してください。

板櫃中の新しい伝統を築いた1・2・3年生に拍手喝采です!

(追記)3年生の前田先生へのサプライズ・・・素晴らしかったです。そして、ありがとう!やはり「人を感動させることができるのは、人しかない」のですね。前田先生をはじめとして、どの先生もみなさんの活躍に、姿に、競技に、演技に感動していました。



もう一度書きますね。「人を感動させることができるのは、人しかない」

板櫃中の生徒のみなさん一人一人には「人を感動させる力」があることを知っててください。生徒全員で取り組む行事はゲームの世界ではありません。生身の人間同士が集まって行う「温かい活動」です。そして、この「感動させる力」は、これからの社会や世の中がどのように変わっていても「大切なもの」だと思うのです。

【生徒会長挨拶】

皆さんおはようございます。金曜日は雨が降ったために延期になりましたが、今日無事開催することができてとてもよかったです。今日の体育大会のスローガンは一心不乱です。その言葉のとおり、皆さんも集中して取り組み、心を燃やしてよい思い出となる楽しい体育大会にしましょう。以上です。

【開会式】

板櫃中のみなさん、おはようございます。いよいよ体育大会です。この2週間仲間と頑張ってきた成果を十分発揮してください。勝負に勝ち負けはつきものですが、それを越える仲間との絆を深めて、最高の思い出を作ってください。第1回目の全体練習で前田先生が話してくれたことを思い出してください。体育大会の楽しさとは、「体育大会に向けて準備する楽しさ」「人のために頑張る楽しさ」「競技する楽しさ」「応援する楽しさ」「人を勇気付けたり励ましたりして人に寄り添う楽しさ」「最後まであきらめない楽しさ」「責任を果たす楽しさ」「自分の能力を最大限に発揮し見る人を魅了する楽しさ」です。

人を感動させるのは人しかいません。板櫃中のみなさんの笑顔、頑張り、思いやりはきっと周りの友達、家族の方々、先生方に感動を与えてくれると信じています。そして、一生懸命頑張ることは大切ですが、安全には十分注意してください。最後に、御来場の皆様、朝早くからの参観ありがとうございます。生徒は、限られた時間の中で、一生懸命練習をしてきました。最後まで、生徒の演技・活動に温かい御声援をよろしくお願いいたします。それでは、今日1日が最高の日となることを願っています。以上で先生の話が終わります。

【開会式】

みなさん、今日はよく頑張りました。どの学年も、どのクラスも精いっぱい頑張って競技をしたことだと思います。楽しかったこと、勝って嬉しかったこともあると思います。一方で悔しい思いをした人もいるかもしれません。それはみなさんが全力で体育大会に参加したから生まれた感情です。

3年生は中学最後の体育大会で、今日の一つ一つの場面が思い出に残るような演技でした。来年はそれぞれ新たな道を歩んでいきますが、今日培ったチームワークと絆を忘れず仲間を思いやれる人間になってください。

1・2年生は今日からが板櫃中体育大会の伝統の始まりです。今日の気持ちを忘れず、来年は今年以上の体育大会を創り上げてくれることを期待しています。

最後に地域のみなさま、保護者の皆様、最後までご声援を送ってくださり感謝いたします。板櫃中学校生徒、教職員で素晴らしい体育大会を作り上げることができました。ありがとうございました。以上で、先生の話が終わります。

【部活動紹介】

おはようございます。まずは、3年間頑張ってきた3年生お疲れ様でした。コロナ禍で十分な練習ができないまま、本当に良く頑張ったと思います。ここまで支えてくれた家族の方々、顧問の先生、コーチ、後輩たちに感謝の気持ちを持ち、種目は違ってもぜひ高校で部活動を続けてほしいと思います。1・2年生のみなさん、新人戦が始まっていますが、先輩から受け継いだものをつなぐだけでなく、ぜひ、1・2年生らしさを出し、それぞれの部で新しい部活動を創り上げてください。

そして、板櫃中の部活動生としての誇りをもって努力してほしいと思います。以上で、先生の話が終わります。